

款	農林水産業費	項	農業費
---	--------	---	-----

事業名	土浦ブランドアッププロジェクト推進事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	4 安全な食料を供給する農林水産業の振興					
施策の内容	5 特産物の生産振興					
H29決算額	14,347千円	財源内訳	国県支出金 7,000千円	地方債	その他	一般財源 7,347千円

**【事業の概要】**

本市は、日本一の生産量を誇るれんこんを始め、米、葉菜、根菜、果実、花き、工芸作物、畜産と多種多様な農業地域となっています。また、霞ヶ浦の水産資源にも恵まれています。

この農林畜水産物を活用した都市と農村の交流と加工品等の開発を進め、地域の農林水産業を活性化することで、交流人口の増加・まちの賑わいの創出を図り、地域経済の好循環を図ります。

平成29年度は、平成28年度に策定した「土浦ブランドアッププロジェクト基本構想」に基づき、体験プログラムを組み込んだモニターツアーの実施及び本市の農林畜水産物を活用した加工品の試作と販売を行いました。

また、「土浦ブランド」の認定を行い、認定品とともにプロジェクトのPRを行いました。

◎モニターツアー

本市への来訪と農業等への関心が高い首都圏在住の子供を持つ家庭をターゲットとして実施しました。



社会科見学コース 参加者29人



土浦の恵みと味覚を楽しむヒナ巡り&クルージング旅 参加者34人

◎農林水産物加工品

飲食店での提供や土産品を想定した品を開発し、モニターツアーでの提供、及び試験販売を行いました。



れんこんと春野菜の牛ちらし寿司



飯村牛れんこんバーガー

◎「土浦ブランド」の認定  
・ブランドマークの作成



MADE IN  
TSUCHIURA  
育てる力 水と土の力 土浦



・平成30年3月24日(土)に第1期土浦ブランド認定式を開催し、18品を認定しました。

○土浦ブランドPR

土浦ブランドとして認定された18品を紹介するパンフレットを作成し、ブランド品のPRを行いました。



(単位：千円)

区分	事業費	概要
報償費	332	協議会運営費
需用費	547	イベント等材料費
役務費	322	ブランド商標登録等手数料
委託料	13,075	モデル事業委託料
使用料及び賃借料	71	イベント用テント借上等
合計	14,347	

**【事業の成果】**

本市への集客・誘客と農林水産業体験への親和性が高い首都圏在住者向けのモニターツアーを行うことで詳細なアンケート結果を得るとともに、参加者自らがSNSでの発信を行い、本市の農林水産物を始め、歴史のあるまちなみや霞ヶ浦の風景などを広めることができました。

また、本市の農林水産物を活用した加工品の試作品をモニターツアーで提供するとともに試験販売を行いました。

さらには、土浦ブランドのシンボルマークを作成するとともに「土浦ブランド」の認定を行い、農林水産物を始め様々な産物を市内外にPRすることができました。

款	農林水産事業	項	農業費
---	--------	---	-----

事業名	担い手確保及び農地集積化事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	4 安全な食料を供給する農林水産業の振興					
施策の内容	3 農業経営体の育成					
H29決算額	13,543千円	財源内訳	国県支出金 13,465千円	地方債	その他	一般財源 78千円

**【事業の概要】**

◎人・農地プラン作成事業

農業者の高齢化や後継者不足などによる農地荒廃化などの課題解決に向け、地域における今後の地域農業の中心となる経営体の位置づけや農地集積方法等を話し合いにより継続して見直し、地域の農作物の振興と農地の有効活用を促進していきます。

[事業費]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
報償費	21	検討委員報償費 (地区座談会2回, 検討会1回)
需用費	19	検討会飲物代
役務費	51	検討会郵便代
合計	91	

◎新規就農者支援事業

新たに農業経営に取り組む意欲がある就農者について、国の支援制度である「農業次世代人材投資資金」を活用して就農初期の負担軽減を図るとともに、関係機関等と協力し、経営安定に向けた営農指導を行います。

[事業費]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
報償費	28	指導農業士報酬
補助金	11,561	農業次世代人材投資資金(全期分8名, 半期分1名)
合計	11,589	

◎農地集積事業

農地の流動化を図り効率的な利用を推進するため、農地中間管理事業に取り組みます。  
あわせて、地区内の農地をまとめて賃借が行えるよう、農地集積協力金の活用を促します。

○農地中間管理制度による農地の集積化

全貸付希望農地：110筆(21.6ha)      そのうち      貸借成立：91筆(19.7ha)

[機構集積協力金実績]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
交付金	1,135	機構集積協力金(藤沢地区, 下坂田地区)

[中間管理制度事務費]

(単位：千円)

区分	事務費	概要
報酬	596	非常勤職員報酬
需用費	54	事務用品代, 燃料代
役務費	30	郵送代
使用料及び賃借料	48	複写機使用料
合計	728	

**【事業の成果】**

「人・農地プラン」を継続的に見直し、新たに地域の担い手となる農業者を位置付け、農地の利活用を図りました。

就農して間もない若手農業者に農業次世代人材投資資金による支援と営農指導を行い、経営継続に助力することができました。

農地中間管理事業により、19.7haの農地を担い手農業者に集積・集約化し、農地の有効活用と農業生産の効率化を図ることができました。

款	農林水産業費	項	農業費
---	--------	---	-----

事業名	一般地帯土地改良事業（農道・かんがい排水事業）					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	4 安全な食料を供給する農林水産業の振興					
施策の内容	2 農業生産基盤の整備と保全					
H29決算額	50,733千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				36,700千円		14,033千円

**【事業の概要】**

農用地区域の農道及び水路の環境整備により、機械化農業に貢献するとともに、排水路としての機能を回復すると同時に、用水源としても活用することにより営農効率を高め、農業経営の安定を図ります。

○農道整備

- ・農用地区域の道路延長 約357km  
平成29年度までの整備延長 197.5km（約55%）

○かんがい排水整備

- ・農用地区域の排水路延長 約93km  
平成29年度までの整備延長 19.7km（約21%）

（単位：千円）

区分	事業費	概要
委託料	5,457	測量，実施設計委託
工事請負費	45,276	虫掛地内外
合計	50,733	

- ・農道改良工 2地区 L=201m  
(虫掛地区，木田余地区)
- ・農道舗装工 6地区 L=552m  
(手野地区，田村地区，菅谷地区，常名地区，小山田地区，大志戸地区)
- ・排水路整備工 3地区 L=159m  
(宍塚地区，田中2期地区，西真鍋地区)



かんがい排水路整備箇所



農道舗装箇所



農道整備箇所

**【事業の成果】**

大型機械の進入が可能になり営農効率を高め、農業経営の安定化に寄与し、一部遊休農地の解消が図られました。

款	商工費	項	商工費			
事業名	ジオパーク推進事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	7 自然・歴史的資源を生かした観光の振興					
施策の内容	2 霞ヶ浦・筑波山麓を活かした広域観光の推進					
H29決算額	1,390千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 1,390千円

**【事業の概要】**

筑波山・霞ヶ浦周辺地域には、「山・川・湖」といった多様な地形とそこに息づく生態系、その中で築かれた歴史や文化という貴重な地域資源があります。これらを近隣自治体と連携して一体的に保全し、その価値を地域住民と共に共有し、後世に守り伝えていく活動を通じて、地域の持続可能な発展を図るため、また、これらの資源を観光事業に活用することにより地域振興に寄与するため、次の事業を行いました。

◎平成29年度事業内容（筑波山地域ジオパーク推進協議会名で実施した事業を含む）

- 1 協議会の運営に関する取組
  - ・総会の開催
  - ・協議会の運営等
- 2 アクションプランに基づく主要な取組
  - ・ジオを理解するための取組  
広報活動，学校教育を通じた活動，地域住民向けの生涯学習
  - ・ジオを守るための取組  
大地の遺産の保護，ジオサイトの保全活動，ジオサイトのデータベース化
  - ・ジオと触れ合うための取組  
ガイド養成，ジオ製品の開発普及，ジオツーリズムの充実，説明板等の整備
  - ・ジオをつなぐための取組  
他のジオパーク等との情報交換及び連携，筑波山地域内における連携，茨城県との連携
  - ・ジオが続くための取組  
拠点施設の整備等

(単位：千円)

区分	金額	概要
旅費	52	日本ジオパーク全国大会参加時
需用費	85	ジオパークパンフレット増刷
備品購入費	270	ジオパーク総合案内バナー購入
負担金及び交付金	983	筑波山地域ジオパーク推進協議会等
合計	1,390	



筑波山地域ジオパーク看板設置

**【事業の成果】**

各地区公民館でのパネル展の開催や筑波山地域の応援まち映画のパブリックビューイングの開催，ジオ資源を学ぶことのできる廃ガラスを使用したクリスタルアートの実施，市役所本庁舎内にジオパーク看板の設置等による市民への情報発信を行うことで，筑波山地域ジオパークの認知度向上に寄与しました。

款	商工費	項	商工費				
事業名	第86回土浦全国花火競技大会開催事業						
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり						
施策名	7 自然・歴史的資源を生かした観光の振興						
施策の内容	2 霞ヶ浦・筑波山麓を活かした広域観光の推進						
H29決算額	65,806千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 65,806千円	

【事業の概要】

◎ 大会概要

第86回土浦全国花火競技大会

期 日：平成29年10月7日（土）

場 所：桜川畔学園大橋下流付近

競技内容：スターマインの部 22台、10号玉の部 45発、創造花火の部 22組の3部門、合計89作品

（19都道府県54業者）の競技花火を打ち上げました。

大会提供花火：レクチャー花火

花火師登場

ワイドスターマイン「土浦花火づくし」

エンディング花火

[事業決算額]

(単位：千円)

区分	事業費	概 要
補助金	65,806	花火大会事業補助金



ワイドスターマイン  
「土浦花火づくし」



スターマインの部優勝  
野村花火工業（株）



10号玉の部優勝  
野村花火工業（株）

【事業の成果】

大会当日の朝方まで小雨に見舞われましたが、開催時間帯には天候も回復し、約75万人の観覧客数となりました。

大会では競技花火のみならず、レクチャー花火やエンディング花火において、7号玉86発を打ち上げました。また、花火鑑賞士会による「花火セミナー」を開催し、大会の魅力化に努め、本市のイメージアップに寄与しました。

大会の様子は、J：COM茨城や茨城放送、BSジャパンで生中継がされました。

款	商工費	項	商工費			
事業名	花火大会プロモーション事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	7 自然・歴史的資源を生かした観光の振興					
施策の内容	4 観光行事の充実					
H29決算額	9,614千円	財源内訳	国県支出金 4,807千円	地方債	その他	一般財源 4,807千円

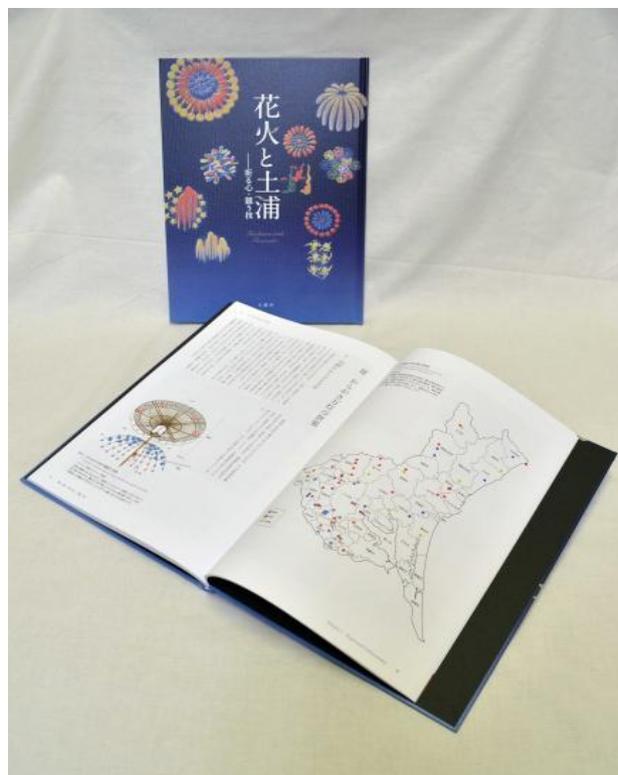
【事業の概要】

本市最大の観光資源である土浦全国花火競技大会を一過性のイベントではなく、花火を活かしたさまざまな事業の展開を目的として、東京都内（東京駅、品川駅）での花火大会PR映像の放映や、花火大会のプロモーション動画を作成し積極的なPR活動を行いました。

また、博物館と連携した花火書籍の作成、Tシャツ、タンブラー、トートバック、扇子、ネクタイの花火グッズを作成することで、花火大会の新たな魅力を創出し、まちの活性化を図ることで将来的には本市のブランド力向上を目指します。

〔事業費〕

区分	金額	概要
需用費	3,771	花火グッズ購入等
委託料	5,843	花火書籍データ作成等
合計	9,614	



花火グッズ

花火書籍データ作成（博物館と連携事業）

【事業の成果】

本市の花火大会をPR映像の放映や花火大会のプロモーション動画を作成し積極的なPR活動を行いました。

また、博物館と連携した花火書籍の作成やTシャツ、タンブラー、トートバック、扇子、ネクタイの花火グッズを作成し、花火大会の新たな魅力創出を図ることができました。

款	土木費	項	道路橋梁費			
事業名	道路ストック修繕事業					
施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施策名	4 市民が安全に生活できる交通環境の整備					
施策の内容	1 交通安全施設の整備充実					
H29決算額	28,614千円	財源内訳	国県支出金 14,847千円	地方債 12,200千円	その他	一般財源 1,567千円

【事業の概要】

道路施設の予防型修繕を目的として、路面性状調査、擁壁・法面、照明施設等の点検調査を実施し、その結果に基づき各施設の修繕工事を実施します。

[平成28年度からの繰越分]  
財源内訳 国県支出金 8,542千円 地方債 6,200千円 一般財源 789千円  
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
擁壁補修工事	15,531	市道 I 級15号線
合 計	15,531	



施 工 前



施 工 後

擁壁補修工事（市道 I 級15号線）

[平成29年度分]  
財源内訳 国県支出金 6,305千円 地方債 6,000千円 一般財源 778千円  
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
擁壁・法面等詳細設計委託料	1,620	市道 I 級15号線
舗装打換工事	11,463	市道 I 級27号線外1路線
合 計	13,083	

[平成30年度への繰越分]  
財源内訳 国県支出金 328千円 地方債 200千円 一般財源 68千円  
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
舗装打換工事	596	市道 I 級3号線
合 計	596	

【事業の成果】

道路施設の適切な点検調査による現状把握と、その結果に基づいた的確な修繕を実施することにより、安全かつ円滑な交通の確保に寄与します。

款	土木費	項	道路橋梁費			
事業名	道路新設改良事業					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 高質な都市基盤の整備					
施策の内容	3 生活道路の整備					
H29決算額	577,331千円	財源内訳	国県支出金 37,525千円	地方債 459,600千円	その他	一般財源 80,206千円

【事業の概要】

日常生活の利便性向上及び地域環境改善のため、次の工事を実施しました。

- ・幹線道路，その他の市道の拡幅改良及び舗装工事
- ・歩行者及び自転車の安全確保のための交通安全施設工事

◎ 路線整備

① 市道I級5号線	L = 260 m	W = 4.5～6.0 m
② 市道桜町四丁目6号線	L = 144 m	W = 6.8～7.8 m
③ 市道永国129号線	L = 129 m	W = 4.0 m
④ 市道中村南三丁目2号線	L = 110 m	W = 4.0 m
外 32件	L = 3,648 m	W = 4.0～9.5 m

[平成28年度からの繰越分]

財源内訳 国県支出金 11,384千円 地方債 203,900千円 一般財源 45,166千円  
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
測量，設計委託費	31,374	8件 延長 3,230 m
舗装，改良，排水工事費	215,813	19件 延長 2,689 m
交通安全施設工事費	4,428	1件 区画線等
用地取得費	2,729	8路線 面積 404 m <sup>2</sup>
物件移転補償費	6,106	立木，工作物移設費等
合 計	260,450	

[平成29年度分]

財源内訳 国県支出金 26,141千円 地方債 255,700千円 一般財源 35,040千円  
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
測量，設計委託費	24,118	9件 延長 1,640 m
舗装，改良，排水工事費	237,946	17件 延長 1,602 m
交通安全施設工事費	2,765	3件 区画線，グリーン帯等
用地取得費	18,865	22路線 面積 3,044 m <sup>2</sup>
物件移転補償費	22,420	立木，工作物，電柱移設費等
役務費	7,617	鑑定料，登記料
事務費等	3,150	原材料費を含む
合 計	316,881	

[平成30年度への繰越分]

財源内訳 国県支出金 7,500千円 地方債 67,700千円 一般財源 7,593千円  
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
測量，設計委託費	23,920	6件 延長 2,050 m
舗装，改良，排水工事費	58,610	7件 延長 883 m
用地取得費	153	1路線 面積 45 m <sup>2</sup>
物件移転補償費	110	工作物移設費
合 計	82,793	



① 市道Ⅰ級5号線



② 市道桜町四丁目6号線



③ 市道永国129号線



④ 市道中村南三丁目2号線

#### 【事業の成果】

幹線道路（Ⅰ級幹線、Ⅱ級幹線）の拡幅改良工事、歩道整備や生活道路・狭隘な市道の拡幅改良工事、舗装工事及び交通安全施設工事を計画的に進めることにより、日常生活の利便性向上と地域環境の改善、さらには歩行者及び自転車通行の安全確保に寄与しました。

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

事業名	橋梁耐震対策事業／橋梁長寿命化修繕事業					
施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施策名	1 災害に強い安心して暮らせるまちづくり					
施策の内容	8 橋梁震災対策の推進					
H29決算額	163,663千円	財源内訳	国県支出金 66,887千円	地方債 82,300千円	その他	一般財源 14,476千円

【事業の概要】

◎橋梁耐震対策事業

橋梁の耐震性を向上させ、地震災害時における避難路及び緊急輸送路の確保を図るため、橋梁の耐震補強工事を1橋、設計委託を1橋実施しました。

◎橋梁長寿命化修繕事業

老朽化が進んだ橋梁を計画的に修繕し、利用者の安心・安全を図るため、長寿命化修繕工事を3橋、設計委託を2橋実施しました。

[平成28年度からの繰越分]

財源内訳 国県支出金 53,100千円 地方債 65,100千円 一般財源 2,760千円

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
長寿命化修繕工事	52,402	常磐線5号橋 (真鍋跨線橋)
	13,489	国道6号4号橋 (天川跨道橋)
耐震補強及び長寿命化修繕工事	55,069	国道6号5号橋
合 計	120,960	

[平成29年度分]

財源内訳 国県支出金 13,787千円 地方債 17,200千円 一般財源 11,716千円

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
橋梁長寿命化修繕詳細設計委託	4,637	国道6号6・8号橋
耐震補強工事実施設計委託	2,815	国道6号8号橋
長寿命化修繕工事	19,040	国道6号4号橋 (天川跨道橋)
耐震補強工事	11	国道6号5号橋
耐震補強及び長寿命化修繕工事	16,200	国道6号6号橋外
合 計	42,703	

[平成30年度への繰越分]

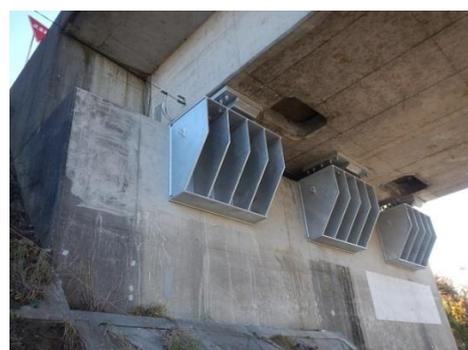
財源内訳 国県支出金 22,851千円 地方債 16,700千円 一般財源 1,997千円

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
長寿命化修繕工事	15,154	常磐線2号橋 (三番橋)
耐震補強工事	2,094	東真鍋1号橋 (木田余立体橋)
耐震補強及び長寿命化修繕工事	24,300	国道6号6号橋外
合 計	41,548	



国道6号4号橋 (天川跨道橋)



国道6号5号橋

【事業の成果】

計画的に橋梁の耐震補強及び予防的な修繕を実施することにより、橋梁の長寿命化を図るとともに、予算の平準化と維持管理費用の削減を行い、道路交通の安全性と信頼を、将来にわたり確保することができます。

款	土木費	項	河川費			
事業名	都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業					
施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施策名	5 浸水被害に強いまちづくり					
施策の内容	1 都市下水路の整備					
H29決算額	47,315千円	財源内訳	国県支出金 36,822千円	地方債 7,800千円	その他	一般財源 2,693千円

**【事業の概要】**

豪雨による道路冠水等を解消するため、雨水を速やかに排除する下水道施設の整備工事等を実施しました。なお、都市下水路整備事業については、国から交付される「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用しています。

◎都市下水路整備事業

- ・西根竹の入都市下水路施設整備工事 U2, 200mm×1, 900mm L=50.0m  
特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用

◎小規模排水路整備事業

- ・田中三丁目地内小規模排水路実施設計委託 L=570.0m
- ・田中三丁目地内小規模排水路整備工事 L=96.6m

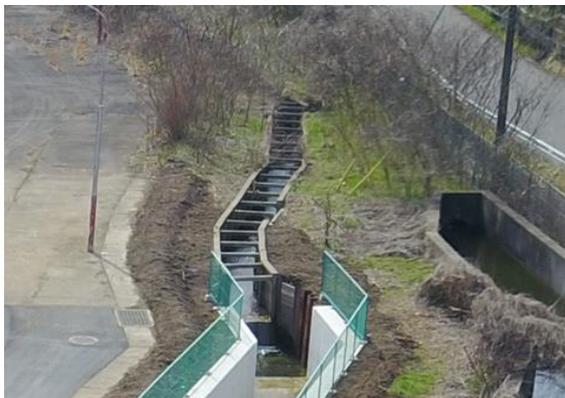
[平成29年度分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
都市下水路整備費	41,364	工事1件
小規模排水路整備費	5,951	実施設計1件, 工事1件
合計	47,315	

[平成30年度への繰越分]

区分	事業費	概要
小規模排水路整備費	4,272	工事1件, 補償金
合計	4,272	



西根竹の入都市下水路 施工前



西根竹の入都市下水路 施工後

**【事業の成果】**

都市下水路施設及び小規模排水路施設の整備を行い、大雨による浸水被害の減少を図りました。今後も計画的に雨水を速やかに排除する下水道施設の整備等を行うことにより、市民の生活環境の向上に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	亀城モール整備事業					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 高質な都市基盤の整備					
施策の内容	2 都市計画道路等の整備					
H29決算額	137,844千円	財源内訳	国県支出金 3,400千円	地方債	その他	一般財源 134,444千円

【事業の概要】

中心市街地の中心地に位置する川口一丁目交差点から中央一丁目交差点北側において、亀城モール整備を行い、歩行者や自転車の安全性を高めるとともに、快適な都市空間を形成します。また当該計画箇所は、土浦駅前やモール505から亀城公園までに至る中間に位置することから、市民及び来訪者の憩いの空間づくりを行います。

- ・事業期間 平成26年度～平成30年度
- ・整備延長 L=178.0m
- 幅員 W=0.4～15.3m（モール部分）

[平成27年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
公有財産購入費	10,238	用地取得費（契約完了払4件）
補償補填及び賠償金	59,223	補償金（契約完了払5件）
合計	69,461	

[平成28年度からの繰越分] (単位：千円)

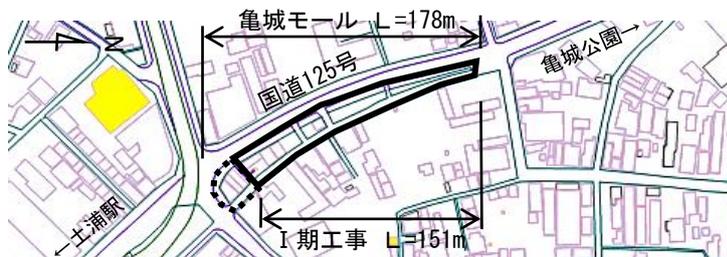
区分	事業費	概要
補償補填及び賠償金	34,239	補償金（1棟）
合計	34,239	

[平成29年度分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
需用費	3	収入印紙代
役務費	41	鑑定料
工事請負費	34,100	侵入防止柵設置工事，歩道整備工事（I期区間）
合計	34,144	

[平成30年度への繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	66,310	歩道整備工事（I期区間）
合計	66,310	



位置図



整備イメージ

【事業の成果】

平成29年度は、建物1件の補償及びI期区間の工事に着手し、整備に向けた進捗が図られました。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	土浦駅西口広場整備事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	1 県南地域の拠点として中心市街地の整備					
施策の内容	1 土浦駅前北地区の整備					
H29決算額	217,912千円	財源内訳	国県支出金 111,962千円	地方債 89,500千円	その他	一般財源 16,450千円

【事業の概要】

土浦駅西口広場の改修については、利用者の安全性向上を主目的とし、図書館を核とした土浦駅前北地区市街地再開発事業と併せ、平成26年度から工事を進め、平成29年度は、タクシー・一般車施設（エレベーター設置工事含む）及び交差点改良工事を実施し、供用開始しました。

- ・事業期間 平成25年度～平成29年度
- ・広場面積 A=9,800m<sup>2</sup>

[平成28年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
需用費	204	消耗品（サイン）
委託料	1,587	エレベーター設置工事監理委託
工事請負費	183,498	改修工事（タクシープール・一般車乗降場） エレベーター設置工事
合計	185,289	

[平成29年度分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料等	223	エレベーター保守点検委託等
工事請負費	32,400	改修工事（交差点改良）
合計	32,623	

[平成30年度への繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	4,946	交通安全施設設置工事



タクシープール・一般車乗降場



エレベーター（一般車乗降場）

【事業の成果】

「バスターミナル」と「タクシー・一般車施設」を区分したことによる車道横断箇所の減少並びに交差点改良による通過交通の排除により、利用者の安全性が向上しました。

さらに、バス利用者に対するアンケートでは、バス乗場の快適性・安全性について、「向上した」が約5割を占め、「少し向上した」と合わせると約8割の結果となりました。

（調査日：平成29年4月24日（月）、平成29年5月25日（木）調査人数N=101人）

また、平成29年11月27日（月）に供用開始した一般車乗降場エレベーターは、約120回／日程度、ご利用いただいています。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	神立駅西口地区土地区画整理事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	2 地域の特性を活かした市街地の整備					
施策の内容	2 神立駅周辺地区の整備					
H29決算額	1,174,884千円	財源内訳	国県支出金 439,466千円	地方債 436,900千円	その他 137,627千円	一般財源 160,891千円

【事業の概要】

神立駅西口地区において、西口駅前広場及びアクセス道路の神立停車場線等の都市施設整備を土地区画整理事業により一体的に推進し、駅前にふさわしい市街地の形成を図ります。

- ・地区面積 2.2ha（土浦市 1.3ha、かすみがうら市 0.9ha）
- ・施行期間 平成24年度～平成33年度
- ・都市施設概要 都市計画道路神立停車場線 W=22m, L=23m  
（西口駅前広場 約4,800㎡を含む。）  
都市計画道路神立駅前西通り線 W=15m, L=210m
- ・総事業費 55.5億円（関連事業費を除く。）

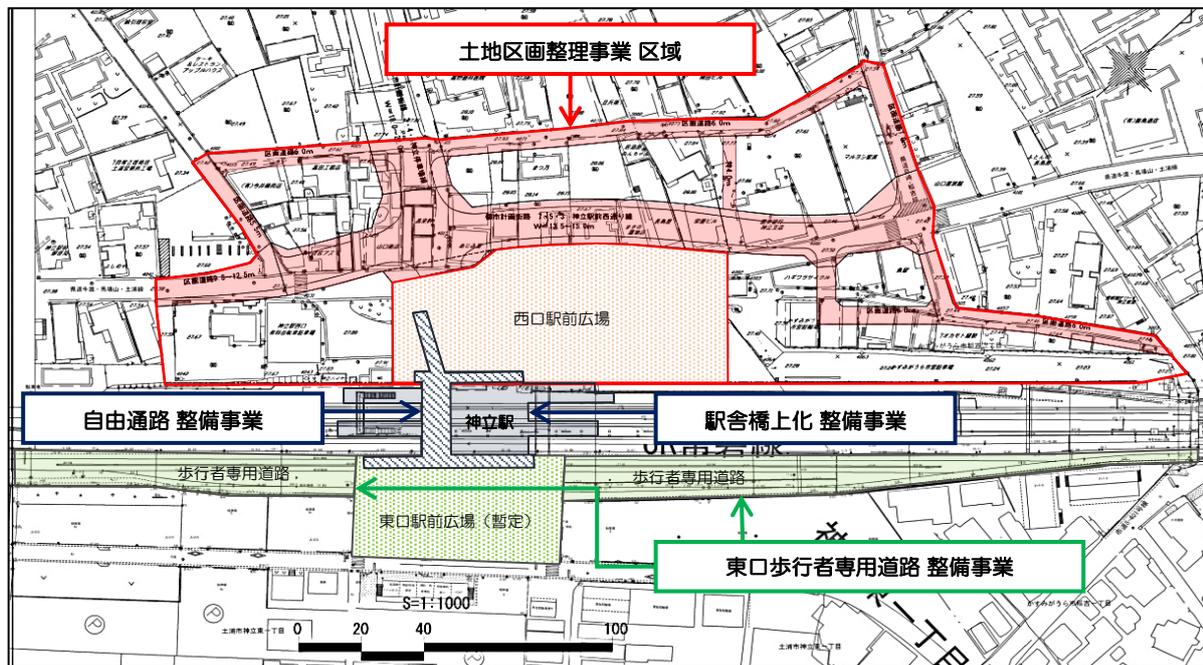
[関連事業]

- ・駅舎橋上化整備事業 A=950㎡
- ・自由通路整備事業 W=6m, L=40m
- ・東口歩行者専用道路整備事業 L=490m A=6,660㎡

[平成29年度決算内訳]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
負担金	182,396	建物等移転補償費、公共施設整備工事等 150,835
		現場事務所諸経費 2,571
		派遣職員人件費 27,479
		剰余金 1,511
委託料	898,222	駅舎・自由通路整備工事委託料
用地取得費	94,266	東口歩行者専用道路用地取得費
合計	1,174,884	





駅舎・東西自由通路イメージ



神立駅東西自由通路 開通式



公共施設整備工事 安全祈願祭

[今後のスケジュール]

- ・平成30年度  
 駅舎・自由通路本体工事（平成30年3月一部供用開始，平成31年3月完成予定），  
 建物等移転（継続），公共施設整備工事，ライフライン整備工事，東口暫定駅前広場実施設計
- ・平成31年度～  
 公共施設整備工事，ライフライン整備工事，東口歩行者専用道路整備工事

【事業の成果】

平成29年12月に公共施設整備工事（第1工区）を着工し，土地区画整理事業の本体工事が始まりました。また，平成30年3月には橋上駅舎，東西自由通路の一部が供用開始され，移動の円滑化が図られました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	常名虫掛線街路事業					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 高質な都市基盤の整備					
施策の内容	2 都市計画道路等の整備					
H29決算額	295,852千円	財源内訳	国県支出金 58,355千円	地方債 209,600千円	その他	一般財源 27,897千円

【事業の概要】

市道Ⅰ級44号線（旧国道125号）と県道小野土浦線とを結ぶ内環状道路として、整備を進めます。

- ・事業期間 平成22年度～平成30年度
- ・整備延長 L=1,435m
- 幅員 W=16.0m

[平成28年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	4,272	測量
工事請負費	190,460	道路改良工事
合計	194,732	

[平成29年度分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	10,171	修正設計，埋蔵文化財発掘調査
工事請負費	90,949	道路改良工事，付帯工事
合計	101,120	

[平成30年度への繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	153,057	道路改良工事，付帯工事
合計	153,057	



位置図

【事業の成果】

西並木地区から虫掛地区における円滑な交通動線の確保を図るとともに、常名運動公園へのアクセス道路としての役割を果たします。

また、新たな南北軸としての交通ネットワークが構築されることとなり、新治地区から市街地への観光客誘導を図ります。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	神立停車場線街路事業					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 高質な都市基盤の整備					
施策の内容	2 都市計画道路等の整備					
H29決算額	6,043千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				4,800千円		1,243千円

【事業の概要】

神立駅西口地区土地区画整理事業に併せて、神立駅から国道6号までの区間を本市とかすみがうら市が整備し、神立駅周辺地区の道路ネットワークを構築するものです。

- ・事業期間 平成23年度～平成31年度
- ・整備延長 L=283m
- 幅員 W=22.0m

[平成28年度からの繰越分]

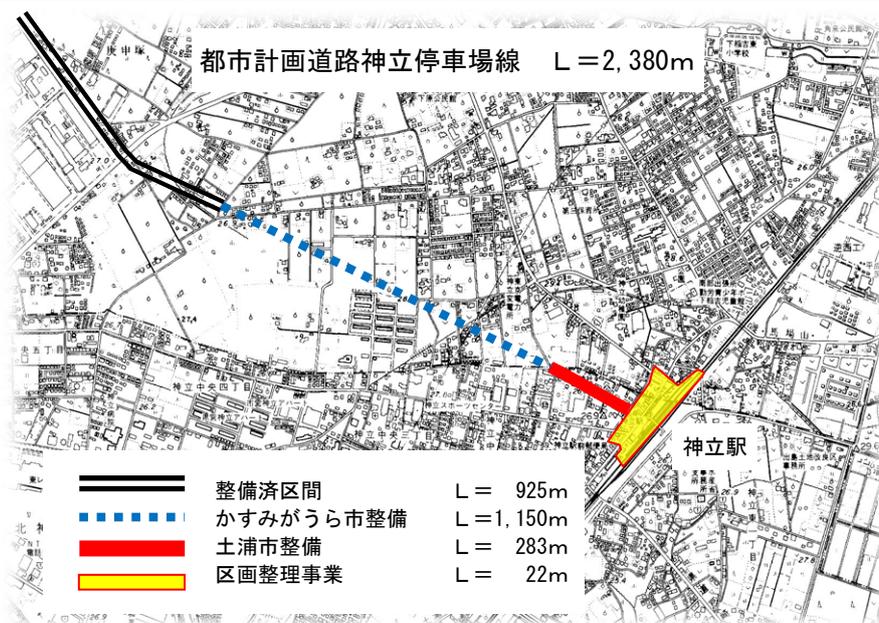
区分	事業費	概要
役務費等	756	補償物件再算定等

[平成29年度分]

区分	事業費	概要
委託料等	5,287	道路修正設計等

[平成30年度への繰越分]

区分	事業費	概要
役務費等	2,042	補償物件再算定等
工事請負費	1,296	防護柵設置
公有財産購入費	56,800	用地取得費
補償補填及び賠償金	29,000	補償金
合計	89,138	



位置図

【事業の成果】

交通アクセスの向上により、市北部地区の交通混雑が緩和されるとともに、調和のとれた魅力的な都市環境を創出します。

また、歩道整備による安全な歩行者空間の確保を図るなど、円滑な交通動線の確保と快適な環境の形成を図ります。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	真鍋神林線延伸道路整備事業					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 高質な都市基盤の整備					
施策の内容	2 都市計画道路等の整備					
H29決算額	50,973千円	財源内訳	国県支出金 5,586千円	地方債 39,100千円	その他	一般財源 6,287千円

【事業の概要】

国道125号から県道小野土浦線までの区間を整備し、円滑な交通動線を確保することで、市の広域的な地域間連携の強化を図ります。

- ・事業期間 平成24年度～平成30年度
- ・整備延長 L=1,320m  
幅員 W=12.0m

[平成28年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	2,179	付帯工事等
合計	2,179	

[平成29年度分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
需用費等	1,676	公用車燃料, 図書, 消耗品等
工事請負費	47,037	道路改良舗装工事
補償補填及び賠償金	81	電柱移設
合計	48,794	

[平成30年度への繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	2,964	道路台帳修正, 交通量調査等
工事請負費	49,720	道路改良工事, 付帯工事等
公有財産購入費	14,445	用地取得費
補償補填及び賠償金	14,694	補償金
合計	81,823	



位置図



供用開始区間

【事業の成果】

中心市街地の交通渋滞が緩和され、交通アクセスが向上することはもとより、歩道整備による安全な歩行者空間の確保が図られるなど、円滑で快適な交通体系の構築に寄与します。

また、本路線には新消防庁舎が隣接することから、緊急車両の到達時間短縮が期待できるほか、市営斎場へのアクセスも向上します。

県道小野土浦線から市道I級15号線までの延長約660mについては、平成28年2月に供用開始しました。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	田村沖宿線延伸道路整備事業					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 高質な都市基盤の整備					
施策の内容	2 都市計画道路等の整備					
H29決算額	392,242千円	財源内訳	国県支出金 241,513千円	地方債 143,000千円	その他	一般財源 7,729千円

【事業の概要】

国道354号おおつ野団地入口交差点から神立駅東地区方面の区間を整備することで、近隣の学校へ通学する児童・生徒の安全な歩行者・自転車空間が確保されます。

- ・事業期間 平成24年度～平成31年度（I期事業）
- ・整備延長 L=2,000m（I期事業）  
幅員 W=14.0m

[平成28年度からの繰越分] (単位：千円)

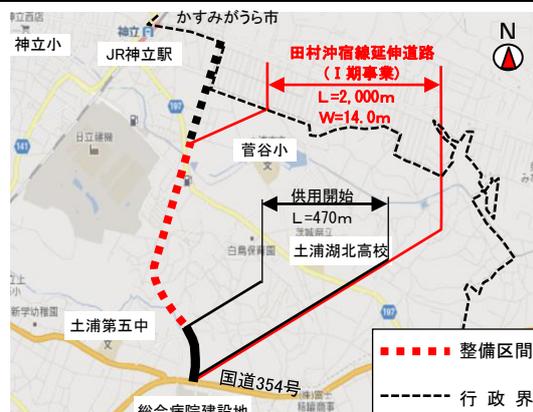
区分	事業費	概要
工事請負費等	267,222	道路改良工事等
公有財産購入費	4,511	用地取得費
補償補填及び賠償金	25,619	補償金
合計	297,352	

[平成29年度分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料等	3,502	出島用水施設改修設計委託料等
工事請負費	83,290	道路改良工事
公有財産購入費	5,415	用地取得費
補償補填及び賠償金	2,683	補償金
合計	94,890	

[平成30年度への繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	204,789	道路改良工事
公有財産購入費	3,254	用地取得費
補償補填及び賠償金	3,136	補償金
合計	211,179	



位置図



整備状況写真

【事業の成果】

神立駅東地区及び隣接するかすみがうら市と、おおつ野団地内の円滑な交通体系の構築に寄与するとともに、総合病院へのアクセス向上が期待できます。

国道354号から市道I級13号線までの延長約470mについては、平成28年3月に供用開始しました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	荒川沖木田余線（I期）整備事業					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 高質な都市基盤の整備					
施策の内容	2 都市計画道路等の整備					
H29決算額	86,143千円	財源内訳	国県支出金 41,875千円	地方債 27,700千円	その他	一般財源 16,568千円

【事業の概要】

都市計画道路真鍋神林線から国道354号までの3車線区間（I期：L=1,300m）を4車線化することにより、道路ネットワークの強化及び交通渋滞の緩和を図るとともに、市の広域的な地域間連携を図ります。

- ・事業期間 平成26年度～平成32年度
- ・整備延長 L=1,300m 幅員 W= 25.0m（4車線，歩道両側3.5m×2）

[平成28年度からの繰越分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
役員費	7,938	不動産鑑定，補償物件算定
公有財産購入費	47,489	用地取得
補償補填及び賠償金	7,468	補償金
合計	62,895	

[平成29年度分]

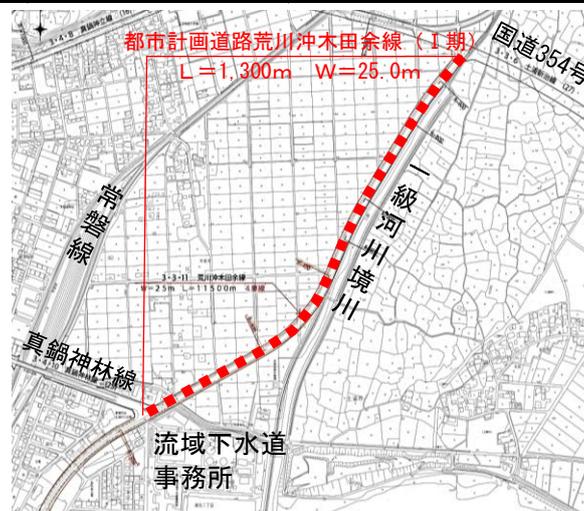
(単位：千円)

区分	事業費	概要
需用費	59	消耗品
工事請負費	1,652	付帯工事
公有財産購入費	17,209	用地取得
補償補填及び賠償金	4,328	補償金
合計	23,248	

[平成30年度への繰越分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	80,352	道路改良工事
公有財産購入費	44,142	用地取得
補償補填及び賠償金	26,060	補償金
合計	150,554	



位置図

【事業の成果】

当該区間の4車線化により道路ネットワークが強化され、物流・防災機能の向上が期待されるとともに、市街地における交通渋滞の緩和及び安全性の向上を図ります。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	まちなか定住促進支援事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	1 県南地域の拠点として中心市街地の整備					
施策の内容	3 まちなか居住の促進					
H29決算額	9,826千円	財源内訳	国県支出金 4,913千円	地方債	その他	一般財源 4,913千円

【事業の概要】

土浦市中心市街地活性化基本計画に基づき、質の高いコンパクトなまちづくりを推進するため、中心市街地の定住促進を図る新たな支援制度により、居住人口増加による活力とにぎわいある中心市街地の再生を図ります。

- (1) 実施期間：平成26年度～平成30年度  
(平成26年10月1日開始)
- (2) 実施エリア：計画において定めた中心市街地内
- (3) 事業内容：

①まちなか賃貸住宅家賃補助

土浦市外から中心市街地に住み替える世帯のうち、新婚世帯又は子育て世帯に対して、家賃の1/2（上限2万円）を補助しました。

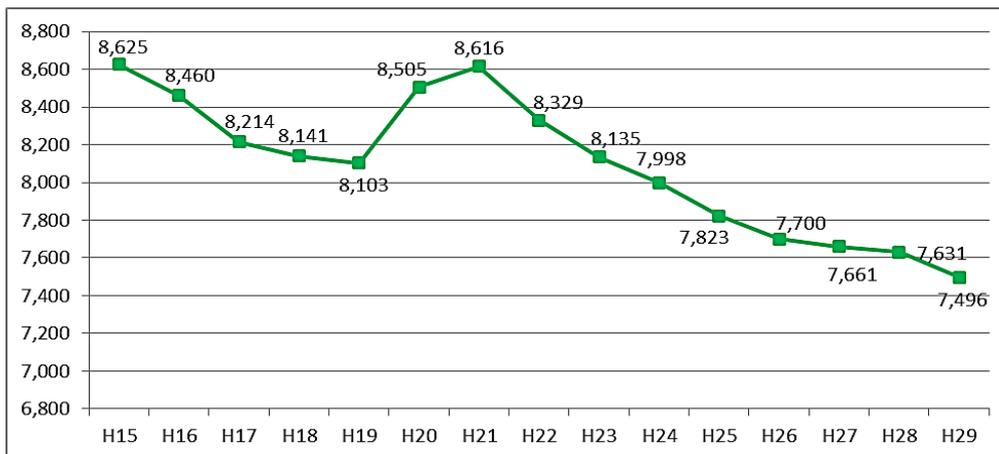
②まちなか住宅建替え・購入補助

中心市街地エリア内の住宅建替え又は住宅を購入する者に対して、借入金の3%（上限50万円）を補助しました。

(単位：千円)

区分	事業費	概要
①賃貸住宅家賃補助	7,691	交付決定：37件
②住宅建替え・購入補助	2,135	交付決定：5件
合計	9,826	

(単位：人)



中心市街地人口の推移

【事業の成果】

平成29年度は、賃貸住宅家賃補助について、新規で5件の申請があり、継続と合わせて37件の申請を受け付けました。建替え購入補助については、前年度は36件であり、平成29年度は5件の申請がありました。

本事業の利用により、中心市街地への居住の促進・定住が図られ、人口減少の抑制に一定の効果がありました。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	土浦港周辺広域交流拠点整備事業
-----	-----------------

施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり
-------	---

施策名	3 うるおいのある河川・公園の整備
-----	-------------------

施策の内容	2 公園・緑地の整備
-------	------------

H29決算額	20,754千円	財源内訳	国県支出金 4,388千円	地方債 7,800千円	その他	一般財源 8,566千円
--------	----------	------	------------------	----------------	-----	-----------------

【事業の概要】

本事業は、「土浦市中心市街地活性化基本計画」及び「土浦市かわまちづくり計画」の中で拠点地区として位置付けている川口二丁目地区において、公共と民間の連携により、水辺空間として市民に広く開放するとともに、観光客の訪れる魅力ある空間となる拠点を整備し、水辺のにぎわいを創出します。

[平成28年度からの繰越分]

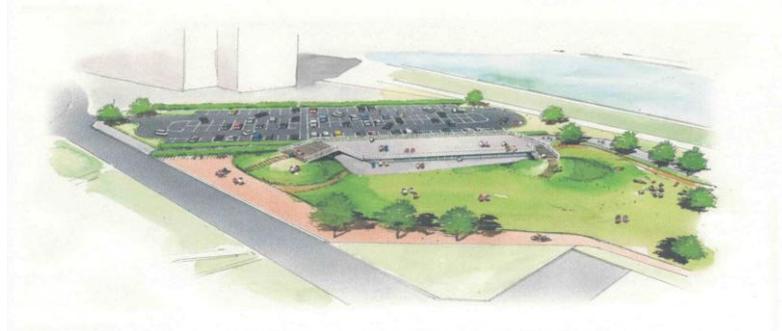
(単位：千円)

区分	事業費	概要
土浦港周辺広域交流拠点基本計画策定業務委託	6,674	外部委員会での検討・調査結果を踏まえた素案の作成等

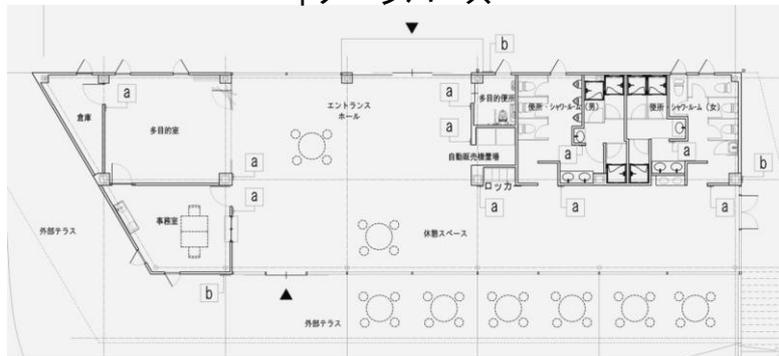
[平成29年度]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
土浦港周辺広域交流拠点基本計画策定委員会に係る費用	72	委員への報償費，飲物代
土浦港周辺広域交流拠点設計業務委託	14,008	基本計画を踏まえた基本設計，詳細設計
合計	14,080	



イメージパース



施設平面図

【事業の成果】

地区全体の整備に関する基本計画を策定し、市先行整備箇所の設計業務を進めたことにより、交流拠点整備の事業化推進が図られました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	土浦駅北通り線整備事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	1 県南地域の拠点として中心市街地の整備					
施策の内容	1 土浦駅前北地区の整備					
H29決算額	44,180千円	財源内訳	国県支出金 27,137千円	地方債 9,700千円	その他 57千円	一般財源 7,286千円

【事業の概要】

土浦駅北通り線のうち、土浦駅前北地区市街地再開発事業で整備する区域から北側80mの区域について、再開発事業と併せて拡幅整備をすることで、歩行者動線を確保しながら車両と歩行者の通行を分離し、駅や周辺地区への回遊動線の形成とにぎわいの連続性を生み出します。

- ・事業期間 平成18年度～平成29年度
- ・事業内容 道路拡幅整備（9.5m→14m，両側歩道2.5m） L=80m，W=14.0m  
電線共同溝 管路（φ30mm～φ200mm，L=124m）

[平成28年度からの繰越分]

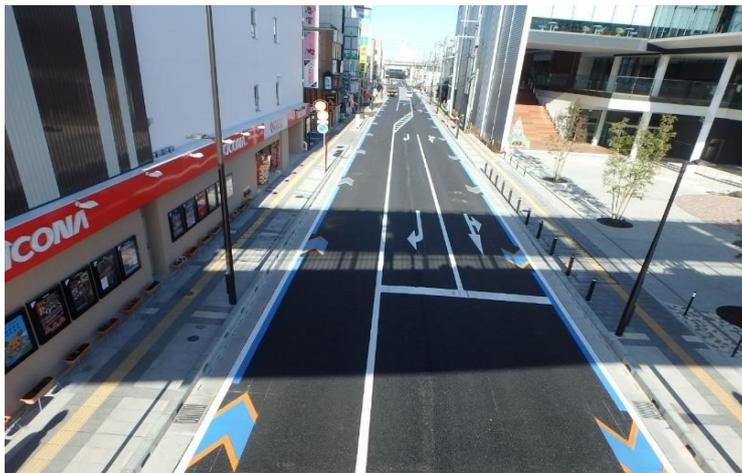
(単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	19,125	土浦駅北通り線整備工事
委託料	2,677	電線地中化工事委託料
合計	21,802	

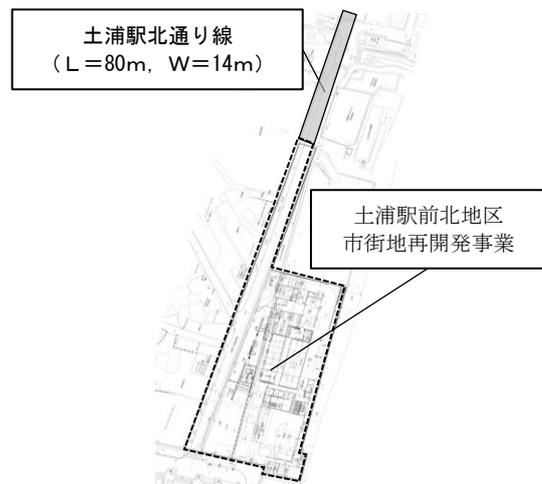
[平成29年度分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	21,500	土浦駅北通り線整備工事
委託料	876	電線地中化工事委託料
事務費等	2	使用料及び賃借料
合計	22,378	



整備完了した土浦駅北通り線



【事業の成果】

平成29年度には、土浦駅北通り線整備工事が完成し、両側歩道の整備による来街者の回遊性や安全性、利便性の向上が図られました。

また、電線地中化のための共同溝建設も完了し、今後の電力・通信事業者による切替え作業等の実施に伴い無電柱化が図られることから、駅前にふさわしい街並み景観の向上にも寄与しています。